

令和7(2025)年度 外国人特別研究員(一般・第2回) 採用者一覧

氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
MEKONNEN Gemechu Beyene エチオピア	伊藤 理彩 北九州市立大学・准教授	地域研究関連	南側諸国における災害廃棄物管理:政策シナリオとライフサイクル評価に基づく解決策	2025/11/01~2027/10/31 (24か月間)
BARKER FLORES Daniel 英国	多湖 淳 早稲田大学・教授	政治学関連	警察と組織犯罪に関するクロスナショナル研究:比較から見た日本	2025/09/01~2027/08/31 (24か月間)
LIU Yang 中国	山本 浩司 東京大学・准教授	経済史関連	14-17世紀東アジア海域世界における強制的移住と社会秩序の多言語実証研究	2025/11/30~2027/11/29 (24か月間)
PIAO Yige 中国	山本 真也 京都大学・教授	認知科学関連	累積的文化における因果連鎖の完全性の役割:チンパンジーとヒトの子どもでの比較研究	2025/10/01~2027/09/30 (24か月間)
ALI Zakir パキスタン	小泉 愛 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所(Research Lab.)・リサーチャー	認知科学関連	自然な社会的身体動作から精神状態を読み解く計算神経行動モデル	2025/10/01~2027/09/30 (24か月間)
YE Zhen 中国	田中 洋美 明治大学・准教授	社会学関連	デジタル技術と文化労働の再編:日本のマンガ・アニメ産業を例に	2025/09/01~2027/08/31 (24か月間)
HAN Dongu 韓国	小林 弦矢 明治大学・教授	経済統計関連	分位点に基づく柔軟なベイズ統計の手法とその応用	2025/09/01~2027/08/31 (24か月間)
PIEGZIK Michal Andrzej ポーランド	渡邊 拓 横浜国立大学・教授	民事法学関連	ヨーロッパの家族法におけるAIの活用事例-日本にとっての重要な教訓?	2025/11/16~2027/11/15 (24か月間)
MIHALITS Dominik Stefan オーストリア	佐藤 達哉 立命館大学・教授	臨床心理学関連	極限経験と文化的自己調整:現代日本社会における質的研究	2025/09/01~2026/08/31 (12か月間)